



けやき

【1月号】

令和2年1月7日

流山市立小山小学校

TEL 04-7154-6937

令和2年 新しい年のはじまりに

校長 山口 謙

新年明けましておめでとうございます。今年も関東地方では、穏やかで暖かい正月を迎えることができました。昨年中は本校の様々な教育活動に格別なご理解とご支援をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて今年も正月の風物詩となっている「東京箱根間往復大学駅伝競走」が、好天の中行われました。この大会は日本人最初のオリンピックマラソン代表選手となった金栗四三氏が創設したものであることを昨年大河ドラマ「いだてん」で知りました。ドラマでは金栗氏や当時の日本スポーツ黎明期に関わられた人物たちの生きざまが取り上げられ、この夏開催される東京オリンピック・パラリンピックに対する見方や考え方が膨らむような内容だったようです。一昨年度からオリンピック・パラリンピック教育に取り組んできた本校としては「いだてん」を録画し、道徳や歴史などの授業で教材化することも考えられたかもしれないと思いました。例えば、1940年に開催が決定し、準備が進められていたにも関わらず実現しなかった「幻の東京オリンピック」。この出来事を調べることでこの時代の歴史、世の中の動きをより主体的に学習できたかもしれません。また、視点を変えて、あの時代であっても最後まで実施を強行すべきだったか、それとも中止すべきだったか議論することで物事の見方や考え方を深める道徳学習も考えられました。

いよいよこの4月から、新学習指導要領の実施となります。新指導要領で示されている基本的な考えは、「子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を育成すること」です。更に「子供たちに求められる資質・能力とは何か、学校は保護者や地域社会と共有し、連携して進めるように」と示されていることを昨年度の学校だよりでお伝えしました。そして本校では、そのために『対話』を重視していきたいとお伝えし取り組んできました。1年経ちましたが、これは短い期間で実現できるものではないことを改めて感じています。それでも、授業参観・懇談会等の機会やPTA活動、毎月設定している教育相談日、毎年ご協力いただいている学校評価アンケートのご意見も含め、様々な形で保護者・地域の皆様と共に小山っ子にどんな力を身につけて欲しいか、さらにはどんな人になって欲しいか考えていきたいと思えます。



今春もアリーナ前の木蓮が冬の陽光に芽吹いています。今年の十二支「子」は、十二支のスタートでもあり、新しい物事や運気の始まりと聞きます。新しい春を1307名の小山っ子皆で元気に迎えられたことに感謝し、今年も皆、健康で怪我無く、事故無く、これからも教職員一同力を合わせ、保護者や地域の皆様と共に「チーム小山」として小山小の教育活動を進めていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。



活動の記録 12月

持久走大会 12/3

天候が少々心配されましたが、当日は良く晴れ、予定通り持久走大会が行われました。この日に向け、気持ち良い秋の気候のもと、児童たちは持久走練習に励み、体力の向上に努めてきました。練習の成果を出し、去年の自分や、試走の時よりも良いタイムで走りきる児童も多かったです。当日の応援、大会に向けての体調管理など、大変ありがとうございました。



邦楽鑑賞教室 5年生 12/5



流山市邦楽三曲会の皆さんを講師にお招きし、5年生が邦楽鑑賞教室を行いました。馴染みのある「春の海」の演奏を聞いたり、和楽器の演奏に合わせて「冬景色」を歌ったりしました。また、尺八と琴をの演奏体験もさせていただきました。

お話の会 1年生 12/6

読み聞かせボランティアのみなさんが、1年生の子たちにお話の会を開いてくださいました。大きな絵本や、手作りのパネルを使ってお話をしてくださり、どの子も集中して聴き入っていました。



書き初め練習 12/10~12



今年度の書き初め練習では、おおたかの森中学校区地域学校協働本部からご協力いただき、講師の先生をお招きして、各学年練習を行いました。大きな紙に字を書くことは普段なかなかないため、適度な緊張感の中、どの子も集中して取り組んでいました。